

Press Release



2026年7月9日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、学校における働き方改革への取り組みとして 2年連続、文部科学省「学校における保護者等への対応の高度化事業」に採択

学校・保護者間の新たなコミュニケーションへの実証事業 学校教職員の負担軽減と保護者等対応に対するCX向上への貢献を期待

トランスコスモスは、学校現場における保護者等対応に関する課題解決に向けた実証事業(文部科学省「学校における保護者等への対応の高度化事業(学校における保護者等対応の高度化のための調査研究)」)の事業者引き続き採択されました。本年度も静岡県裾野市教育委員会と連携し、新たに静岡県駿東郡小山町教育委員会とも連携した保護者や地域住民からの学校への問い合わせ業務に関する実証事業(以下、本事業)を開始します。



人と企業に選ばれるまち
静岡県
裾野市
Susono City



本事業では、保護者や地域住民からのさまざまな学校への問い合わせを、トランスコスモスのコンタクトセンターで受付し、一義的な対応を行うことで学校教職員の負担を軽減し、保護者や地域住民との円滑な連携をはかるよう取り組みを行います。昨年度の取り組みを拡大させ、裾野市立小中学校ならびに小山町立小中学校を実証フィールドとして、教職員の負担軽減や保護者の満足度向上等による、保護者等対応の高度化・効率化を目指します。

(本事業の背景)

近年保護者や地域からの過剰な苦情や不当な要求など、学校だけでは解決が難しい事案が学校運営上の大きな課題になっております。また、学校現場における電話等への対応が、必要以上に教職員の負担になっているとの指摘もあります。学校現場を取り巻く環境整備は喫緊の課題となっており、2025年6月の給特法等改正を踏まえて、各教育委員会において計画の策定や学校における業務の見直しが進められる中、学校における働き方改革をさらに加速化させる観点からも本事業は重要な事業と位置づけられ、その効果検証に期待が高まっています。

■実証スケジュール及び今後の展開

裾野市は令和8年6月1日(月)から、小山町は令和8年7月1日(水)から、実証を開始しており、今回の実証の結果得られた知見を広く共有していくことを目指します。

■トランスコスモスの社会課題への取り組み

トランスコスモスでは、社会課題の解決に取り組むことで、企業としてのソーシャルインパクトを拡大し、社会全体の Well-being を最大化していくことをパーパスとして、みなさまの SX パートナーとなるべく活動をしています。今後もサステナビリティ推進の一環として教育 DX の取り組みを支援していきます。

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することでお客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、アジアを中心に世界 36 の国と地域・187 の拠点で、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは、お客さまや社会と向き合い、構想から実行までを共に考え、共に挑み、共に実現してまいります。<https://www.trans-cosmos.co.jp>